

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
地理歴史	世界史探究	文4, 理3	選択	共通	3

教科書（発行所）	詳説世界史（山川出版社）
教科書以外の教材	1 新世界史要点ノート〔応用編〕（啓隆社） 2 アカデミア世界史（浜島書店）

目 標	1 世界史への興味関心を高め、主体的に探究していく態度を身につける。 2 世界史の大きな枠組みを地理的条件や日本史と関連づけながら理解する。 3 文化の多様性と現代社会の特質を多角的に考察し、歴史的思考力を培う。 4 資料を適切に選択し、考察した結果を適切に表現する力を身につける。 5 現代社会の諸課題について歴史的観点から考察する力を身につける。
-----	---

	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	(2年次の続き) D 諸地域の結合・変容	(1) 諸地域の結合・変容への問い (2) 世界市場の形成と諸地域の結合	実力考查 中間考查 期末考查
	2 学期	E 地球世界の課題	(3) 帝国主義とナショナリズムの高揚 (4) 第二次世界大戦と諸地域の変容  (1) 国際機構の形成と平和への模索 (2) 経済のグローバル化と格差の是正 (3) 科学技術の高度化と知識基盤社会 (4) 地球世界の課題の研究	実力考查 中間考查 卒業考查
	3 学期	復習・総まとめ		

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1 計画表に基づいて提出物・宿題は期限をきちんと守る。 2 グループワークやペアワークで自分自身の考えを述べ、他者と知恵を寄せ合い理解を深めること。 3 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらず、説明を集中して聞いて、メモを取る習慣をつける。ノートは後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。特に、原因と結果を明確にしながらか勉強する。 4 現代のニュースや世界史的事象に関心を持ち、視野を広げられるよう意識する。
----------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、わが国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断するとともに、追究し考察した課程や結果を適切に表現する。	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
評価の方法	授業時の観察・定期考查、授業に臨む姿勢や意欲及びルーブリック評価・自己評価を総合的に評価します。いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		